

式辞

校庭の桜が、光輝く雲のように燦然と咲き誇る春の日に、兵庫県立播磨南高等学校に入学されました第 39 回生のみなさん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆様、ご来賓の清水ひろ子播磨町長様、渋谷美由紀 PTA 会長様ご出席のもと、入学式を挙行できますことを心より感謝申し上げます。

本校は今年度より「地域デザイン類型」を開始します。新入生のみなさんはその第一期生になります。「地域デザイン」は、特色選抜で入学した生徒だけが行う学習活動ではなく、「総合的な探究の時間」を中心に全校生徒で取り組む、学校全体の特色です。

具体的には、1 年生でアンケートの取り方、データ分析の方法、研究のまとめ方、発表の仕方などの調査研究の基礎を学びます。

1 年生で学んだことを基に、2 年生では実際に播磨町での現地調査や研究を行います。例えばみなさんが「播磨町の川や海にマイクロプラスチックはどのくらい含まれているのだろう」という疑問を持ち、調査してみようと考えたとします。本日ご臨席の播磨町長様のご尽力で、本校と播磨町は連携協定を結んでいますので、播磨町の生活環境チームから指導や助言をいただきながら川や海の現地調査を行うことができます。また、大学とも連携していますので、例えば神戸大学海洋政策科学部に教えていただくこともできます。

教育について研究したいなら、保育園、幼稚園、小学校などと連携でき

ますし、ゴミ問題、国際交流などそれぞれの興味関心に応じて、播磨町全体を学習のフィールドとして自由に現地調査ができるのです。

そして、3年生で研究のまとめを発表し、外部のアワードにも応募します。このような活動をとおして、主体的に多様な人々と協力して仕事をすることを学び、小論文や面接、グループディスカッションなどが課される、新しい大学入試や就職試験にも対応できる力をつけていきます。

では、どうして今「地域デザイン」という新しい取り組みを開始したのでしょうか。それは、これからの時代に、体験研究活動を通して学ぶ「主体性・多様性・協働性」がとても重要になってくるからです。

今、社会の意識は、かつてないほど急速に変化しています。例えば「男子厨房に入らず（男は外で大きな仕事をするもので、台所に入って料理などすべきでない）」などと言われ、長い間料理は女性がするものと考えられていました。しかし、1994年から高校の家庭科共修が始まったこともあり、現在では男女とも料理をすることがあたりまえになりました。

長い間黙認されてきた、ハラスメントやいじめなどに目を向け、人権に関する意識が高まってきたのもここ 20～30 年のことです。何百年と続いてきた価値観が今、劇的に変化しています。私たちは古い価値観を絶えずアップデートする必要があります。

一方、厚生労働省の試算によると、日本の人口は 2008 年の 1 億 2800 万人をピークに減少し、2100 年には中位推計で 4850 万人になると言われています。みなさんは人口が半減していく時代を生きることになります。

人口が増加し経済成長が続いていた時代では、他の人と競争して勝ち残

ることが奨励されたこともありました。しかし、急激な人口減少時代では、今いる人たち同士で競争するよりも、周りの人と協力しながら、人々がそれぞれの持てる力を十分に発揮し、人口が減っても豊かな社会が維持できるようにすることが必要になってきます。

みなさんには、地域デザインという活動を通して、自分から新しい価値観を学ぼうとする主体性や、年齢や国籍などが違う人たちと、ともに協力して働くという多様性、協働性を身につけてほしいと思います。

競争から協働へ。他人を尊重し、協力しながら新しい時代を切り開く力を身につけてください。

これから播磨南高校での新生活が始まります。不安なこともあると思いますが、まずはやってみましょう。人は行動が全てであり、行動こそが才能です。勉強に部活動に、力を出し尽くし、自分の限界を超えて一段高いところへと成長してください。

みなさんの高校生活が充実したものになることを願っています。

二〇二二年四月八日

兵庫県立播磨南高等学校

校長 吉田 尚美